

死亡者の追加について

令和2年12月から令和4年1月にかけて亡くなった10人の新型コロナウイルス感染症患者について公表漏れが判明したため、本日付けで死亡者として追加します。これにより、令和4年5月18日時点での死亡者の累計は297人となります。なお、判明の経緯等は下記のとおりです。

記

1 判明の経緯

令和4年4月5日に、対策本部内で入退院状況について内部データの整理作業を行っていたところ、死亡日が入力されているが死亡事例の番号が付番されていない患者が1人いることに気づき、公表資料を確認したところ、死亡の公表を行っていなかったことが判明しました。

その後、改めて全患者について本部および各保健所において調査を行った結果、50代から90代までの男女10人について死亡事例としての公表と、厚生労働省への報告が漏れていたことを確認しました。

2 原因

- (1) 直接の死因がコロナ以外の要因によるもので、公表は不要と判断したと推測されるもの(8件)

厚生労働省の事務連絡(令和2年6月18日)のQAによれば、厳密な死因を問わず、入院中や療養中に亡くなった方については公表と同省への報告が求められていましたが、患者情報プロジェクトチーム内で、当該QAの趣旨の理解と共有が不十分でした。

- (2) 原因の特定に至らなかったもの(2件)

データ上では死亡年月日が入力されているものの、本部内に当該患者が死亡した連絡を受けた正確な日時の記録は残っておらず、公表しなかった原因の特定はできませんでしたが、本来ならば、連絡を受けた後に速やかに公表すべきであったものです。

3 再発防止策

現在は、患者情報プロジェクトチームから毎日全保健所へ翌日に公表する死亡事例の有無について電話にて確認し、また、医療体制整備・調整プロジェクトチームへ退院者の退院理由の確認を行っており、今後はこの取組を続けながら再発防止に努めます。